

第152回国際研修

「人身取引——予防，訴追，被害者保護及び国際協力の促進」

1. 日程及び参加者

- 平成24年8月23日（木）～9月27日（木）
- 海外参加者15か国16名
- 国内参加者6名

2. 研修概要

人身取引は、被害者を大きく傷つける悪質な犯罪である。児童を含む多数の男女が、毎年、人身取引被害に遭い、性的搾取、強制労働、奴隷的扱いその他の搾取の対象となっている。また、その間、移動の制限、身体的暴力、言語的・心理的虐待などに恒常的にさらされる結果、心身両面に回復しがたい影響を残す者も少なくない。

本研修の目的は、人身取引対策に関して、その現状及び問題点を整理し、その改善を図る方策について理解を深めるとともに、各参加者が有する経験や専門知識を参加者間において共有することにある。

主要な検討項目は以下のとおりである。

- 人身取引の実態
- 訴追のための方策
- 被害者保護のための方策
- 予防のための方策

3. 客員専門家等

本研修の一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う（敬称略）。

【客員専門家】

- ネキア・ハックオース 米国アトランタ連邦検事局検事補
- マーティン・フォーク 国連薬物・犯罪事務所条約局反人身取引・密入国部 部長代理
- ワンチャイ・ロウジャナボン タイ検事総長府国際局長

【外部講師】

- ウィリアム・バリガ 国際移住機関（IOM）駐日事務所 代表
- 小田切 弘明 法務省入国管理局審判課 法務専門官
- 千田 恵介 東京地方検察庁交通部長 検事
- 吉田 容子 弁護士
- 早川 昌宏 警察庁生活安全局保安課課長補佐
- 齋藤 克也 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室 女性保護専門官

以上